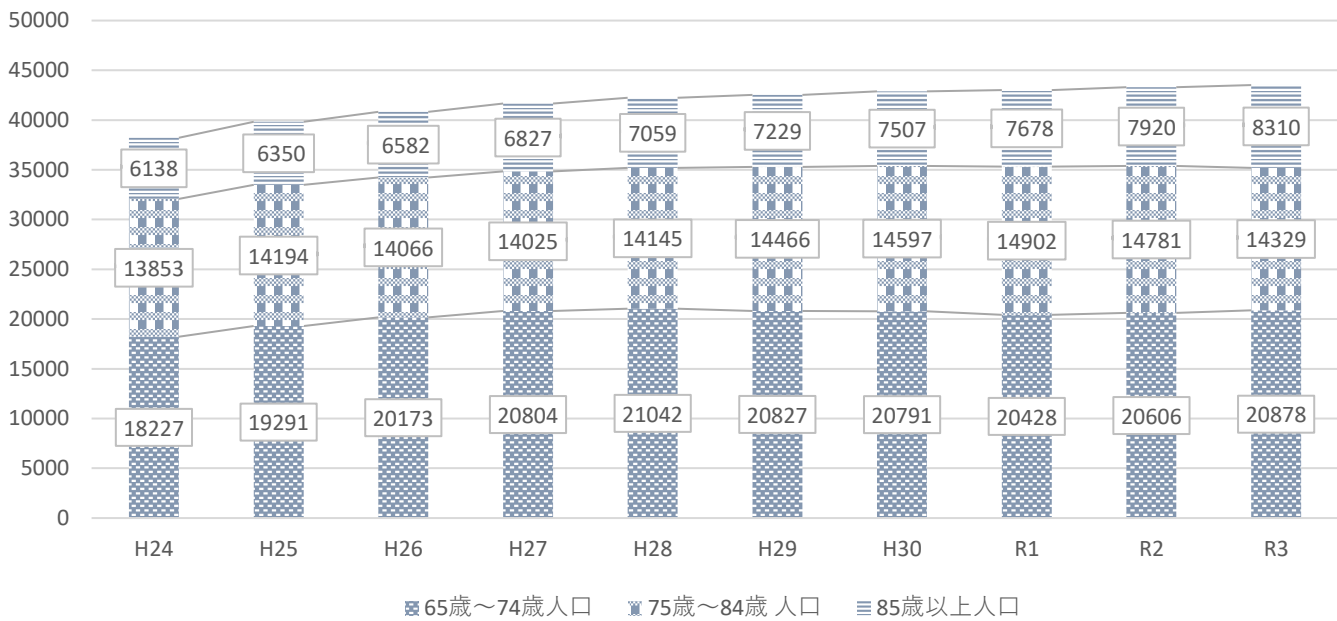


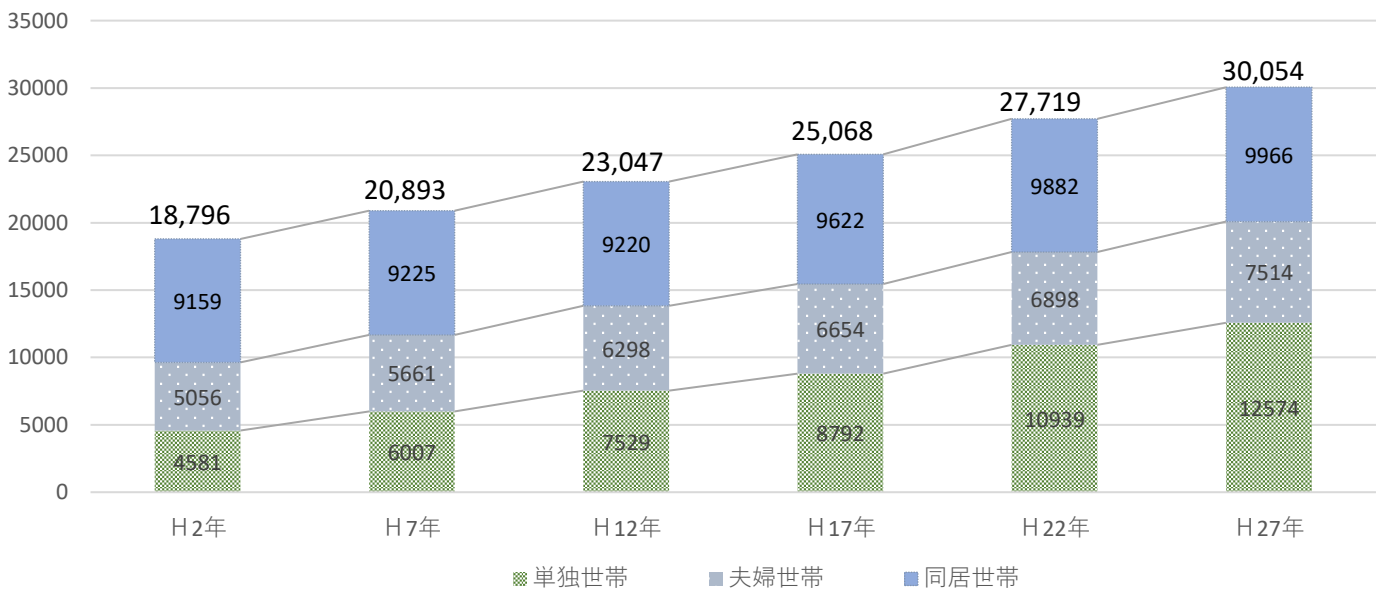
①文京区高齢者人口の推移



文京区人口統計資料年齢別（各歳）別及び男女別人口（住民基本台帳）に基づく各年4月1日現在の実績値

✦文京区高齢者・介護保険事業計画（令和2年～令和5年度）の推計では、令和7年（2025年）前期高齢19,703人・後期高齢者25,258人、令和27年（2045年）前期高齢者35,774人・後期高齢者34,753人となる

②文京区高齢者のいる世帯の推移

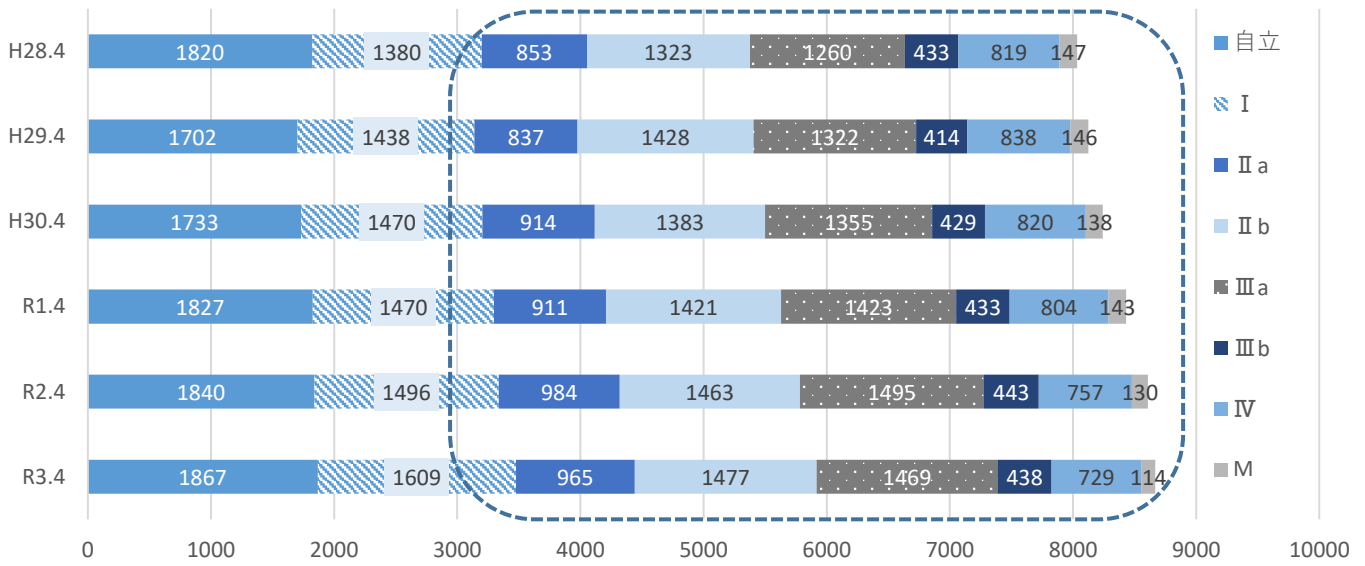


高齢者介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）より

✦ 高齢者単独世帯は増加傾向

R1.9月現在、介護保険要支援・要介護認定者における独居世帯の認知症日常生活自立度Ⅱ以上は2,384名。R2年.9月現在、2,577名となっている。

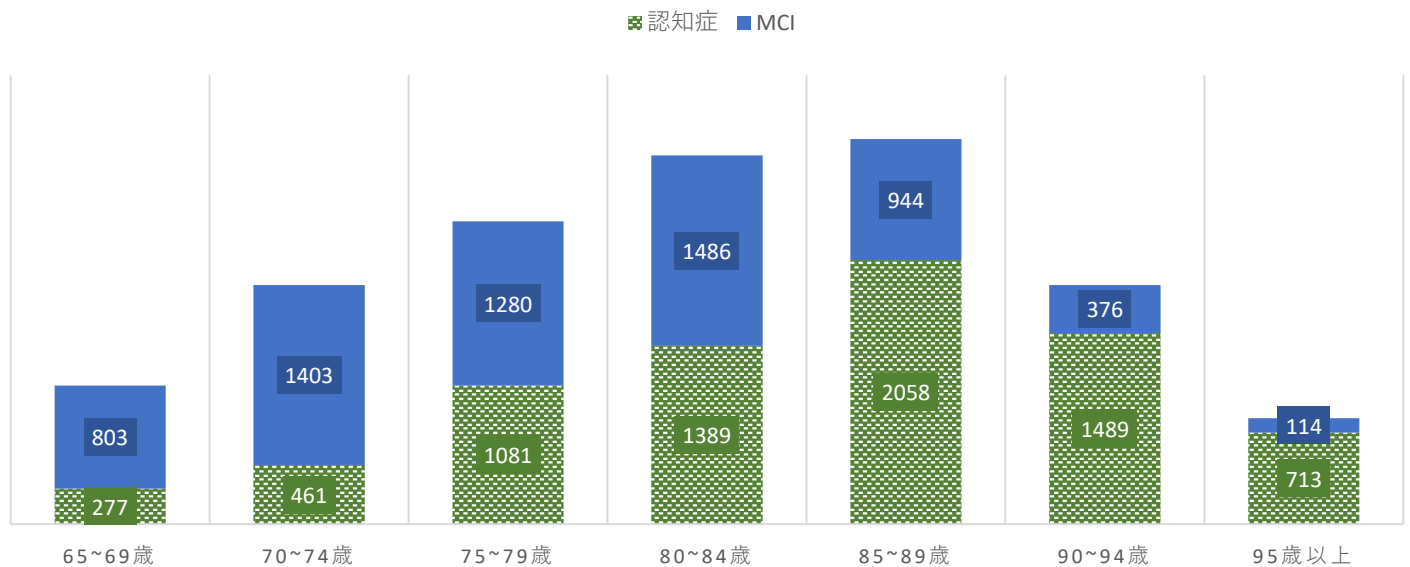
③要支援・要介護認定者 認知症日常生活自立度



文京区高齢者・介護保険事業計画（令和3年から令和5年）より

★介護認定を受けている方の中、R3年日常生活自立度Ⅱ以上は5,192名（59.9%）

④文京区認知症・軽度認知障害（MCI）の有病率推計



「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」H23年度～H24年度総合研究報告書（研究代表者 朝田隆氏）資料を参考にR3年4月1日現在の人口を基準として算出

★ 65歳以上推計（R3.4.1現在の人口で算出）では、認知症：7,468人 MCI：6,406人となっている。

文京区認知症ケアパス作成における理念及び方針

認知症になっても人として尊重され、希望を持って自分らしく生きることができる文京区

- 誰もが認知症の正しい知識を持ち、どのような支援が受けられるか知っている文京区
- 適切なタイミングで適切な支援につながり、切れ目なく支援が提供される文京区
- 認知症であってもそうでなくても、「お互いさま」と当たり前を支えあう文京区
- 認知症の本人を支える家族の生活と人生に、充分配慮された支援のある文京区

普及・啓発の推進

◇ 認知症講演会

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
開催回数	9回	8回	8回	5回	3回	4回
参加者数	182	109	178	153	283	11
平均参加者数	20.2	13.6	22.3	30.6	94.3	2.7

◇ パンフレット等



◇ 認PAKU~認知症に寄り添う機器展~

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
参加者数	343	396	380	493	569	173



◇ 認知症サポーター養成講座

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
開催回数	62回	45回	54回	42回	43回	19回
○ 区民	282	276	318	455	224	73
受 講 学 校	406	573	785	360	500	505
者 企 業	1,842	494	542	499	554	44
数 合 計	2,530	1,343	1,645	1,314	1,278	622



◇ 認知症サポーターステップアップ講座

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
受講者数	15	6	43	53	28	21



R3年度の認知症サポーターステップアップ講座について

認知症サポーターの役割を再確認し、サポーターとして地域に根差した活躍ができるようプログラム内容を改訂する。8月の講座終了後は、10月~12月に予定している認知症とともにフォローアッププログラム・11月うちに帰ろう模擬訓練にボランティアとして活躍できる機会を提供する。



認知症早期診断・早期支援推進事業

◇認知症支援コーディネーターについて

認知症の本人と家族が地域で安心して生活できるよう、区市町村に認知症の医療・介護・生活支援等の情報に精通した地域における認知症の専門家である認知症支援コーディネーターを高年齢者あんしん相談センターに配置し、個別ケース支援のバックアップ等を担い、認知症の疑いのある人の早期発見・診断・対応を進めることにより、地域の認知症対応力の向上を図ることを目的とする。

東京都認知症支援コーディネーター事業包括補助事業概要より

◇認知症相談機能強化

～H26年度から認知症支援コーディネーターを配置し個別支援や認知症施策を推進～

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
認知症支援CO対応件数（延）	293	592	738	856	816	703
認知症相談件数（延）	2,785	3,317	3,920	3,873	3,316	4,397

◇もの忘れ医療相談

～H26年7月より認知症サポート医を区の嘱託医として高齢者あんしん相談センターに配置～

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
来所相談件数	45	36	43	28	22	24
訪問相談（再掲）件数	16	13	12	2	5	3

※不在含む

▼ H26.7月～R1もの忘れ医療相談累積相談結果数

助言	要医療	方針確認	介護保険	その他
113	85	21	8	9

▼もの忘れ医療相談”要医療”と判断された方のその後の状況

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
受診他	2+	2+	10	12	4	4	1
状況	・嘱託医、他の専門医、介護保険申請など						
未受診	0	0	7	7	2	4	5
状況	・支援拒否のため、介入の時期を検討している ・かかりつけ医での受診継続 ・介護保険申請支援など						

認知症早期診断・早期支援推進事業

【事業概要】

認知症の症状が進行し、深刻化後に顕在化する事から、認知症の早期の段階で支援につながる仕組みである。医療機関で認知症の診断を受けてから診断後の支援まで、ご本人や家族に寄り添った伴走型の包括的なサポートを実施する。

◇ 認知症ともにパートナー事業

	R2
新規事例	9
延数	9
辞退	1
対象外	1

事業実施は、区内訪問看護ステーション。
事業紹介を行っていただく協力医療機関はR2年度26医療機関。
(R3年6月現在の登録状況は、51医療機関)

※R2年9月から事業開始。

※R2年10月からR3年3月の実績となる。

◇ 認知症ともにフォローアップ事業 ※9月25日、3月16日開催（12月18日は中止）

【事業概要】

認知症の有無に関わらず、日々の生活習慣の大切さや生活習慣病をコントロールする事の大切さ等、総合的な健康管理と個人の状況に応じたスモールステップな行動変容を促す複合的なプログラムを実施。

コロナ禍の対応として事業規模を見直しを行い、来場型に加えて新たに自宅参加型の選択肢を設け、認知症専門医を始め、管理栄養士や健康運動指導士による講話をCATV番組制作・放映し、自宅で参加できる体制を整備した。

全3回制	R2年度		
	第1回	第2回	第3回
来場参加者	38	中止	24
自宅参加者	6	43	24

※第2回来場参加は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け開催中止。

※自宅参加者の第2回及び第3回は追加募集参加者を含む。

認知症早期診断・早期支援推進事業

◇ 認知症初期集中支援推進事業～H29年10月より多職種連携による認知症支援の開始～

【事業概要】

認知症サポート医・専門医・認知症支援コーディネーター（看護師）・社会福祉士・認知症地域支援推進員（区職員）による多職種連携により、認知症のご本人及び家族に対して、医療や社会資源サービス調整等の支援を行う。

年次	事業対象者数			
	H29.10～3	H30	R1	R2
文京区	12	12	11	7
全国平均	13.4			

支援の 実際	開始時					
	初動日数	長谷川式平均	ザリト平均	ダスク平均	II a以上	認知症診たて有
H29.10～3	12.6	16.3	15.8	46.8	10	5
H30	15.4	13.1	12.0	44.6	10	11
R1	24.7	15	16.4	45.8	10	11
R2	15.3	14.3	12.3	40.7	4	7
全国平均	19.8	※疑い含む				

認知症早期診断・早期支援推進事業

◇ 認知症初期集中支援推進事業～H29年10月より多職種連携による認知症支援の開始～

支援の 実際	終了時				↓年度内			
	平均支援期間	認知症診たて有	ザリト平均	支援継続中	支援終了	医療	介護	その他
H29.10～3	111.7	11	12.0	6	6	2	2	3
H30	180.0	12	11.0	7	5	1	4	0
R1	194.1	11	14.0	8	9	0	4	5
R2	244.3	7	8.7	3	12	2	4	7
全国平均	108.8							

※ザリド(Zarit):介護によってもたらされる身体的負担・心理的負担・経済的困難などを統括し、介護負担として測定する指標である。

※長谷川式簡易認知機能評価スケール：認知症の可能性のある高齢者をスクリーニングするために作成された高齢者用の質問式の知能評価指標である。

※ダスク：認知機能低下の状態と生活課題の評価を21の質問項目で構成し、リストアップしたものである。

地域での日常生活支援の充実・家族支援の強化

◇ 認知症カフェ『ぶんにご』文京区認知症コミュニティ ◇ 認知症家族交流会

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
開催回数	20	22	27	25	26	7
参加者数	257	319	558	409	315	64
平均参加者数	12.9	14.5	20.7	16.4	12.1	9.1

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
開催回数	8	8	8	8	7	5
参加者数	46	53	64	58	98	49
平均参加者数	5.8	6.6	8	7.3	14	9.8

◇ 認知症家族介護者教室

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
開催回数	9	8	8	8	8	3
参加者数	156	202	133	186	203	32
平均参加者数	17.3	25.3	16.6	23.3	25.4	10.6

◇ 認知症カフェ・家族交流会・介護者教室

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年4月から5月下旬まで及び11月下旬から3月上旬までの間、事業の中止や定員を抑制して開催した。

行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業

◇ 靴用ステッカー及び衣類用アイロンシール配付状況

配付数	H28	H29	H30	R1	R2
靴ステッカー	49	37	36	38	48
アイロンシール	41	30	34	31	47

◇ 生活環境維持事業

	H28	H29	H30	R1	R2
利用者数	0	1	0	1	0

(人)

◇ SOSメール事前登録事業及びSOSメール配信

	H28	H29	H30	R1	R2
事前登録者数	73	90	73	89	119
メール協力者数	549	603	640	699	745
メール配信回数	10	5	3	5	3
協力者による発見数	0	0	0	0	0

◇ うちに帰ろう模擬訓練

	H28	H29	H30	R1	R2
参加者数	106	71	43	56	中止

2020年11月28日開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大（第3波）の影響を受け、中止となった。

◇ GPS探索サービス

	H28	H29	H30	R1	R2
新規申請者数（持ち運び）	3	4	1	0	2
新規申請者数（靴収納）					4
利用者数	5	8	6	2	6

◇ 高齢者等おでかけ見守りシール事業

【事業概要】 R3年7月事業開始

認知症の症状による行方不明時に、衣服や持ち物に貼った2次元コードを発見者が読み取ると、ご家族等へ通知メールが届く。発見者と家族が伝言板を通じて発見時の状況等の簡単なやり取りができる。